

2025年1月吉日

MC-Media Pad お客様 各位

製造元: JNC 株式会社 ライフケミカル事業部

販売元: アズマックス株式会社 顧客サービスグループ

MC-Media Pad サルモネラ用取扱説明書変更のお知らせ

拝啓

貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、表題の件につきまして、以下の通り、ご案内申し上げます。

敬具

記

MC-Media Pad サルモネラ用 取扱説明書変更

MC-Media Pad サルモネラ用の取扱説明書を一部変更することにいたしました。これまでは、定量試験の方法のみの記載でしたが、別添(表1)の通り、定性試験の方法を追記いたします。なお、取扱説明書は製品に同梱しておりませんので、製造元ホームページよりダウンロード、または下記へのお問い合わせをお願いいたします。 <https://www.jnc-corp.co.jp/MC-MP/document/>

※上記の変更により、製品性能等には、何ら影響ございません。

本ご案内につきまして、ご不明な点がございましたら、以下までお問い合わせください。引き続き、MC-Media Pad をご愛顧いただきますよう、何卒よろしく願いいたします。

以上

【お問い合わせ先】

アズマックス株式会社 顧客サービスグループ

TEL:03-6661-1090 FAX:03-6661-1091 E-mail:sales@azmax.co.jp

表 I MC-Media Pad サルモネラ用の取扱説明書変更前後の比較表

項目	変更前	変更後
試験に必要な器具	<ul style="list-style-type: none"> ・インキュベーター (35±1°C) ・ストマッカーまたはブレンダー ・サンプリングバッグ (食品残渣を排除できるフィルター付のものを推奨) ・ピペット類 ・Butterfield's Phosphate Buffer ・リン酸緩衝生理食塩水または同等の希釈液 ・BPW などの増菌培地、RV ブイヨンまたは TT ブイヨンなどの選択増菌培地 	<ul style="list-style-type: none"> ・インキュベーター ・ストマッカーまたはブレンダー ・サンプリングバッグ (食品残渣を排除できるフィルター付のものを推奨) ・ピペット類 ・リン酸緩衝生理食塩水または同等の希釈液 ・(定性試験の場合) 緩衝ペプトン水などの増菌培地、ラパポート・バシリアディス培地やテトラチオネート培地などの選択増菌培地
試料の調製	<ul style="list-style-type: none"> ・固形試料の場合 試料を 9 倍量の Butterfield's Phosphate Buffer (またはリン酸緩衝生理食塩水、生理食塩水など) とともにホモジナイズします。必要に応じて、適宜 10 倍段階希釈を行います。 ・水、液体試料、ふき取りサンプルの場合 直接試料を滴下します。必要に応じて、pH を中性 (pH7.0±0.2) に調整します。 	<p><u>定量試験</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・固形試料の場合 試料を 9 倍量の希釈液とともにホモジナイズします。必要に応じて、適宜 10 倍段階希釈を行います。 ・水、液体試料、ふき取りサンプルの場合 直接または適宜 10 倍段階希釈した試料を使用します。必要に応じて、pH を中性 (pH7.0±0.2) に調整します。 <p><u>定性試験</u></p> <p>試料の9倍量の増菌培地とともにホモジナイズし増菌培養します。試料中の大腸菌群数が 10⁵cfu/g 以上であることが想定される場合は、選択増菌培地に増菌培養液を添加し、選択増菌培養します。</p>
使用手順	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的な使用方法 1. アルミ袋を開封し、MC-Media Pad を取り出します。必要に応じて、カバーフィルム上に検体情報等を書き込むことができます。 2. カバーフィルムを開け、1mL の試料溶液を培養シート部に滴下します。 3. カバーフィルムを閉じ、周囲をしっかりと押さえ、接着シートと密着させます。 (このとき、カバーフィルムを対角線状に開けると、閉めやすくなります) 4. 35±1°Cで 24±2 時間培養します。 ・増菌培地または選択増菌培地からの分離培養法 使用 30 分前に滅菌希釈液を滴下して培地を再構成させたのち、白金耳を用いて画線します。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. アルミ袋を開封し、MC-Media Pad を取り出します。必要に応じて、カバーフィルム上に検体情報等を書き込むことができます。 2. (定性試験のみ) 使用 30 分以上前に MC-Media Pad のカバーフィルムを開け、希釈液を滴下します。カバーフィルムを閉じ、培地を静置します 3. (定量試験の場合) カバーフィルムを開け、1mL の試料溶液を培養シート部に滴下します。 (定性試験の場合) カバーフィルムを開け、増菌培養液または選択増菌培養液を、白金耳を用いて培地シート部に画線します。 4. カバーフィルムを閉じ、周囲をしっかりと押さえ、接着シートと密着させます。 5. 35±1°Cで 24±2 時間培養します。